

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：新田） （2組：新田） （3組：芦澤） （4組：新田） （5組：新田）

使用教科書： （高等学校 情報 I 数研出版）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>情報とメディア</p> <p>【知識及び技能】 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解し、情報を評価・判断するための技能を身に付ける。 さまざまなメディアの特徴を理解する。 アカウント情報の適切な管理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の価値や信頼性について、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報・メディアについて興味を持つ。</p>	<p>・指導事項 情報とは何か 情報源と情報の検証 情報とメディアの特性 CALLシステムへのログオン、インターネット上のクラウドへのアクセス。(実技)</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 「情報」がもつ意味やはたらきについて理解でき、情報を評価・判断するための技能を身に付けることができる。 さまざまなメディアの特徴を理解できる。 ローカルなシステム、インターネット上のシステムに適切にアクセスできる。</p> <p>【思考、判断、表現等】 情報の価値や信頼性について、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報・メディアについて興味を持っている。</p>	○	○	○	4
<p>情報社会における法とセキュリティ</p> <p>【知識及び技能】 情報社会における法規・権利について理解する。 セキュリティを脅かす問題を理解し、それに対する技術について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報を適切に利活用するための法律や個人の責任について考察し、その結果を適切に表現する。 セキュリティを脅かす問題に対する適切な対応について考え、判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たせる。 セキュリティを脅かす問題について関心を持つ。</p>	<p>・指導事項 情報社会と法規・制度 個人情報の適正な利活用と保護 知的財産権 情報セキュリティ 情報セキュリティ対策のための技術 情報セキュリティ対策への意識</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 情報社会における法規・権利について理解できる。 セキュリティを脅かす問題を理解し、それに対する技術について理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報を適切に利活用するための法律や個人の責任について考察し、その結果を適切に表現できる。 セキュリティを脅かす問題に対する適切な対応について考え、判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 個人情報やプライバシーを保護することについて関心をもち、個人の責任を果たそうとしている。 セキュリティを脅かす問題について関心を持っている。</p>	○	○	○	7

1 学 期	<p>情報技術が社会に及ぼす影響</p> <p>【知識及び技能】 情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解している。 インターネット上で適切に情報を発信・活用するための知識を身に付けている。 インターネット上のトラブルを理解し、それを回避して適切に活用するための知識を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断している。 インターネット上のトラブルへの対策について関心を持つ。</p>	<p>・指導事項 情報技術の発展の光と影 情報技術の適切な活用</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解できる。 インターネット上で適切に情報を発信・活用するための知識を身に付け、トラブルを回避して適切に活用するための知識を身に付けることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術の発展が社会や人に及ぼしている影響について、よい面と悪い面の両面から考え、判断できる。 インターネット上のトラブルへの対策について関心を持っている。</p>	○	○	○	4
	<p>情報のデジタル表現</p> <p>【知識及び技能】 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解し、デジタル情報の特徴について理解する。 ビット・バイトの概念やデジタル情報の量の単位について理解し、基数変換を理解する。 文字・音・画像・動画のデジタル化の方法を理解する。 決められた時間内に必要な文字を入力し、適切なレイアウトで印刷できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて考え、適切に判断し、それぞれの利点・欠点について考え、その結果を適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数値の情報がデジタル情報としてどのように表されるかについて関心を持つ。</p>	<p>・指導事項 アナログとデジタル デジタル情報の表現 文字・音・画像・動画のデジタル表現 ワープロソフトによる文書入力(実技) ビジネス文書におけるマナー(実技)</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて理解し、デジタル情報の特徴について理解できる。 ビット・バイトの概念やデジタル情報の量の単位について理解でき、基数変換を理解できる。 文字・音・画像・動画のデジタル化の方法を理解できる。 決められた時間内に必要な文字を入力し、適切なレイアウトで印刷できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 アナログ情報とデジタル情報のちがいについて、適切に判断し、それぞれの利点・欠点について判断し、その結果を適切に表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数値の情報がデジタル情報としてどのように表されるかについて関心を持つ。</p>	○	○	○	6
	<p>コミュニケーション手段の発展と特徴</p> <p>【知識及び技能】 情報通信技術の発展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解できる。 情報伝達のメディアの性質を理解し、情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報発信の目的や受け手に応じて情報伝達のメディアを適切に選択している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 情報通信が発達してきた歴史に関心を持つ。</p> <p>情報を発信することや情報伝達のメディアに関心を持ち、情報を適切な方法で発信できる。</p>	<p>・指導事項 通信とその進展 マスコミュニケーションの進展 情報の発信とメディアの性質</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 情報通信技術の発展がコミュニケーション手段を変化させてきたことを理解している。 情報伝達のメディアの性質を理解でき、情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報発信の目的や受け手に応じて情報伝達のメディアを適切に選択できる。 情報を発信することや情報伝達のメディアに関心を持ち、情報を適切な方法で発信しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信が発達してきた歴史に関心を持っている。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】 情報を適切な方法でわかりやすく表現する。 ユーザインタフェースに関する技術について理解し、ユニバーサルデザイン等についての知識を身に付け、その必要性や重要性、社会に果たしている役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 人にとって利用しやすいユーザインタフェースについて関心をもち、バリアフリーやユニバーサルデザインについて関心をもてる。</p>	<p>・指導事項 情報を表現する方法 ユニバーサルデザイン</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 情報を適切な方法でわかりやすく表現することができる。 ユーザインタフェースに関する技術について理解でき、ユニバーサルデザイン等についての知識を身に付け、その必要性や重要性、社会に果たしている役割を理解できる。 【思考・判断・表現】 情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 人にとって利用しやすいユーザインタフェースについて関心をもち、バリアフリーやユニバーサルデザインについて関心をもっている。</p>	○	○	○	4
	<p>プレゼンテーション</p> <p>【知識及び技能】 プレゼンテーションとは何かを理解する。 プレゼンテーションに用いる機器に対する知識を身に付け、その機器を活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的な資料作成や発表に関心をもち、積極的に工夫する。</p>	<p>・指導事項 プレゼンテーションの流れと注視点 プレゼンテーション作成ソフトを利用した水ライドショーの作成(実技)</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 プレゼンテーションとは何かを理解している。 プレゼンテーション作成ソフトの基本操作ができる。 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な資料作成や発表に関心をもち、積極的に工夫している。</p>	○	○	○	6
	<p>コンピュータのしくみ</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータの基本的な構成について理解し、コンピュータ本体のはたらきや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解する。 ファイルやフォルダの適切な扱い。 コンピュータの内部における数の表現方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置の役割について知り、コンピュータの能力について比較する。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りのコンピュータの本体や周辺装置、ソフトウェアに関心をもち、性能の比較をする。</p>	<p>・指導事項 コンピュータの構成 コンピュータのソフトウェア コンピュータでの数値の内部表現</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 コンピュータの基本的な構成について理解でき、コンピュータ本体のはたらきや補助記憶装置の種類や特徴などについて理解している。 ファイルやフォルダを適切に扱うことができる。 コンピュータの内部における数の表現方法について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータの能力を適切に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの本体や周辺装置、ソフトウェアに関心をもち、積極的に活用しようとする。</p>	○	○	○	5
	<p>プログラミング</p> <p>【知識及び技能】 プログラムの作成を通して、アルゴリズムやプログラミングの基本を理解する。 プログラミング言語と自然言語のちがいについて理解し、実行のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 同じ問題を解決するために複数のアルゴリズムがある場合、アルゴリズムの特性によって性能差があることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 意図しない結果が得られたとき、その対処方法について理解する。</p>	<p>・指導事項 アルゴリズム プログラミング言語とは プログラミングの方法(実技)</p> <p>・教材 教科書、PC</p>	<p>【知識・技能】 プログラムの作成を通して、アルゴリズムやプログラミングの基本を理解できる。 プログラミング言語と自然言語のちがいについて理解でき、実行のしくみについて理解できる。 【思考・判断・表現】 同じ問題を解決するために複数のアルゴリズムがある場合、アルゴリズムの特性を理解し、適切なアルゴリズムを選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意図しない結果が得られたときに、計算の手順などに目を向けて改善しようとしている。</p>	○	○	○	6



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 情報 科目 PC技術演習

教科：情報 科目：PC技術演習 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（X2：新田）（X3：新田）

使用教科書：（なし）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 PC技術演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
課題の内容を理解し、各種ソフトウェアの操作を行うことができる。	より効率的で短時間で処理できる工夫を自ら探ることができる。	自らの課題に意欲的に取り組み、適切で効率的な処理方法を考えようとする姿勢を持っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	表計算ソフトの基本操作 【知識及び技能】 表計算ソフトのデータ入力方法、合計、平均の算出の仕方、罫線、中央ぞろえ等の体裁について適切な処理を行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の道具としての表計算ソフトに関心を持ちデータ入力、合計、平均の算出、体裁の整え方について興味関心を持って知ろうとすることができる。	・タッチタイピングの練習 ・表計算ソフトの基本操作 SUM関数 AVERAGE関数 IF関数 RANK関数 端数処理	【知識・技能】 表計算ソフトのデータ入力方法、合計、平均の算出の仕方、罫線、中央ぞろえ等の体裁について適切な処理を行うことができる。 【思考、判断、表現等】 問題解決のための適切な処理方法について理解を深め処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。	○	○	○	14
	ワープロソフトの基本操作 【知識及び技能】 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができる。	・ワープロ検定3級の内容 (文書) 罫線、網掛け、下線、文字サイズ、時候の挨拶等通信文書の体裁 (速度) 10分で300文字	【知識・技能】 10分で300文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。 【思考・判断・表現】 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。	○	○	○	14

2 学 期	<p>表計算ソフトの基本操作</p> <p>【知識及び技能】 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について興味関心を持って知ろうとすることができる。</p>	<p>・表計算ソフトの発展的な内容 VLOOKUP関数、ネスト、AND、OR、グラフ作成（縦棒、横棒）</p>	<p>【知識・技能】 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができる。</p> <p>【思考、判断、表現等】 問題解決のための適切な処理方法について理解を深め処理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。</p>	○	○	○	16
	<p>ワープロソフトの発展的な学習</p> <p>【知識及び技能】 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができる。</p>	<p>・ワープロ検定3級の内容 (文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線 (速度)10分で350文字</p>	<p>【知識・技能】 10分で350文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。</p> <p>【思考・判断・表現】 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。</p>	○	○	○	16
3 学 期	<p>表計算ソフトの基本操作</p> <p>【知識及び技能】 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について興味関心を持って知ろうとすることができる。</p>	<p>・表計算ソフトの発展的な内容 VLOOKUP関数、ネスト、AND、OR、グラフ作成（多様なグラフ）</p>	<p>【知識・技能】 表検索、多重判断文、論理演算子、日付の計算、セル証明、グラフ作成について適切な処理を行うことができる。</p> <p>【思考、判断、表現等】 問題解決のための適切な処理方法について理解を深め処理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。</p>	○	○	○	9
	<p>ワープロソフトの発展的な学習</p> <p>【知識及び技能】 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができる。</p>	<p>・ワープロ検定3級の内容 (文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線 (速度)10分で400文字</p>	<p>【知識・技能】 10分で400文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。</p> <p>【思考・判断・表現】 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。</p>	○	○	○	9



# 年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

新田 真琴

教科・科目	PC技術演習上級	単位数	2	学年・学級	3年選択C4
教科書	なし				
補助教材	令和5年度 問題集 日本語ワープロ検定 2・準2級 令和5年度 問題集 情報処理技能検定試験 表計算 2・準2級				
学習目標	上記検定の内容について2級以上のスキルを身に付ける。 検定取得に向け、自分の客観的なスキルや得意不得意を判断し、自ら計画を立て学習する。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチタイピングの習得</li> <li>ワープロ検定準2級の内容（速度・文書）</li> <li>情報処理技能検定準2級の内容</li> </ul>	タッチタイピングを身に付けて文字入力ができる。10分間で350文字入力できる。 ビジネス文書の書式を理解することができる。	12
1学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定準2級の内容（速度・文書）</li> <li>情報処理技能検定準2級の内容</li> </ul>	手書き文書をビジネス文書として作成できる。10分間で400文字入力できる。表計算ソフトでの多重判断文・論理演算子について理解することができる。	14
2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定2級の内容（速度・文書）</li> <li>情報処理技能検定2級の内容</li> </ul>	20分間でビジネス文書作成ができる。表計算ソフトでの表検索の応用的な処理方法について理解できる。	14
2学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定2級の内容（速度・文書）</li> <li>情報処理技能検定2級の内容</li> </ul>	10分間で500文字入力できる。20分間でビジネス文書作成ができる。表計算ソフトにおいて適切なグラフを作成することができる。	16
3学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定2級模擬問題</li> <li>情報処理技能検定2級模擬問題</li> </ul>	検定合格レベルに達することができる。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	課題の内容を理解し、各種ソフトウェアの操作を行うことができる。	より効率的で短時間で処理できる工夫を自ら探することができる。	自らの課題に意欲的に取り組み、適切で効率的な処理方法を考えようとする姿勢を持っている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物</li> <li>実技テスト</li> <li>授業態度</li> </ul>		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 放課後の自主練習を推奨する。
---------	------------------------------------

# 年間授業計画表（令和5年度）

担当教員

新田・芦澤

教科・科目	PC技術演習	単位数	2	学年・学級	3年選択C1, C2
教科書	なし				
補助教材	令和5年度 問題集 日本語ワープロ検定 3・4級 令和5年度 問題集 情報処理技能検定試験 表計算 3・4級				
学習目標	上記検定の内容について3級以上のスキルを身に付ける。 検定取得に向け、自分の客観的なスキルや得意不得意を判断し、自ら計画を立て学習する。				

学習期間	学習内容	学習のねらい【到達度目標】	時数 (目安)
1学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチタイピングの練習</li> <li>表計算ソフトの基本操作 SUM関数 AVERAGE関数 IF関数 RANK関数 端数処理</li> </ul>	タッチタイピングを身に付けて文字入力ができる。 情報処理技能検定4級のスキルを身に付ける。	12
1学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定4級の内容（速度・文書）</li> <li>情報処理技能検定3級の内容</li> </ul>	10分間に200文字の入力ができる。 情報処理技能検定3級の処理手順を理解することができる。	14
2学期 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定4級の内容（速度・文書）</li> <li>情報処理技能検定3級の内容</li> </ul>	20分間で文書作成ができる。 情報処理技能検定3級のスキルを身に付ける。	14
2学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定3級の内容（文書）</li> <li>情報処理技能検定3級模擬問題</li> </ul>	指示通りに文書作成ができる。 30分間で情報処理技能検定の問題を解くことができる。	16
3学期 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロ検定3級模擬問題</li> <li>情報処理技能検定3級模擬問題</li> </ul>	3級の学習内容での文書作成を20分間で作成できる。 表計算ソフトを使用し、合計、平均、順位等の処理を正しく時間内におこなうことができる。	22

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力
	課題の内容を理解し、各種ソフトウェアの操作を行うことができる。	より効率的で短時間で処理できる工夫を自ら探ることができる。	自らの課題に意欲的に取り組み、適切で効率的な処理方法を考えようとする姿勢を持っている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>提出物</li> <li>実技テスト</li> <li>授業態度</li> </ul>		

学習のポイント	【補習・補講計画、参考図書など】 放課後の自主練習を推奨する。
---------	------------------------------------